

## 【技術戦略の検討について】

- イノベーションのプロセスが変わってきている。研究開発ありきで社会実装の議論をするのではなく、最初に社会実装を先に議論するなど進め方を工夫する必要がある。将来のビジョンを検討する上で、あるべき姿からバックキャストする等、プロセスを逆に考えていくことも試みてもらいたい。
- 今後の戦略を立てる上で、過去につくったものが現状どうなっているのかなどとの関係性を整理して欲しい。
- ヒアリングを行う際には、技術を進めるにあたって社会的あるいは倫理的、経済的にどんな問題を生じていくかということについて、違う分野の方の意見を何らかの形で聞き取るようにした方がよい。
- 技術の流出を防ぐためにも、情報のオープン・クローズを考え、どの分野、視点でオープンイノベーションを考えるのかを議論した上で技術戦略を検討すべき。
- オープン・クローズ戦略では、データの保護の問題をも含め、知的財産権のマネジメントと標準化の活用についても検討が必要。
- 社会課題を解決するためのビジョンを考え、そこに向かってチームアップしていった結果としてオープンイノベーションがあるのであって、オープンイノベーション自体が目的化するのはおかしい。ビジョンに向かってメンバーや組織を作って進んでいくというシナリオやストーリーを作るアプローチが重要である。そのためにも、人材育成など人に対する観点も検討項目に加えてほしい。